

backバスケットボールスクール

☆さあ、楽しもう！

【3つの柱】

1. 全てにリスペクトの精神（尊敬と感謝の気持ち）
2. 怪我をしない心と体
3. 本物のスキルと理論

【スクールの方針】

1. backバスケットボールスクールでは選手育成＝人創りであるという考えのもと、主体性・判断力・行動力を持ち、沢山の人が愛される選手を育成します。
2. 試合や大会は勝つことが目的では無く、選手が成長するための方法の1つです。勝ち負けのあるスポーツですからそこに一喜一憂はありますが、「全国大会出場」など勝つことを最終目標に掲げることはしません。試合結果は次のステージへのステップと考えます。
3. 個人スキルに特化した指導に拘り、すべてのスキルについて常に先進的で理論的・ロジカルな習得システムを構築します。また、個別に数値目標を設定し、縦の比較により成長レベルを測る育成システムを実施します。

【保護者様へのお願い】

1. 練習中の選手への声掛けは肯定的（褒める）に。
お子様にとって最も聞きなれた声は親御さんの声です。応援の声掛けのつもりが選手にとっては逆にプレッシャーとなったり、集中力を乱す原因となることがあります。
「がんばれ！」や「一生懸命やりなさい！」などは選手の脳のなかでは「がんばるな！」「適当にやりなさい」と変換され、やる気を奪っていくのです。声掛けは「よくがんばってるね！」「すごく良いよ！」「上手になったね！」など気分の良くなる言葉選びをしましょう。
心に響いたかどうかは、笑顔がバロメーターです。
2. 変化の瞬間をキャッチしてあげましょう。
育成年代の選手は必ず成長します。しかし、その度合いは個々それぞれで、大きく分けると①早く変化が現れるタイプ、②じわじわと変化するタイプ、③ある時期を境に急成長するタイプの3タイプに分かれます。成長には波があり、大きな変化と小さな変化を繰り返します。ご家庭でこの小さな変化（成長）を選手と一緒に喜んであげてください。
3. 家でのダメ出し（試合動画等の悪いところ探し）は成長の最大の敵
選手の成長過程においては、あえて未熟なまま見守ることが必要な場面も多くあります。悪い部分が目についても、コーチが今はまだ伝える時期ではないと判断しているかも知れません。選手の気持ちに乗ってきて「さあ、今から！」というタイミングでダメ出しをされると、苦労して盛り上がったモチベーションは一気に下がってしまうことにもなりかねません。
もし気になるころがあれば遠慮なくコーチにお尋ねください。

4. コーチと家族のコミュニケーション

コーチ達は家族も知らない選手の意外な一面を知っていたりします。逆に家族にしか見せない部分も当然あるでしょう。選手に寄り添いノーストレスな成長を促すためには、コーチと保護者の間にも信頼と尊敬、そして感謝の気持ちがあることがとても大切です。共に笑い、楽しみ、選手、コーチそしてご家族が最高のチームメイトとなりましょう。